

- このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
- この説明書は、施工前によくお読みいただき、施工完了後、必ず取扱者様へお渡しください。

### ■施工上のご注意 ※裏面「安全上のご注意」も併せてお読みください。

### パールテクト専用

#### ⚠注意

- 禁止**
- 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。感電、火災、不動作のおそれがあります。
- 厳守**
- テンパール工業製住宅用分電盤パールテクト専用です。テンパール工業製の他の分電盤、他社製分電盤には取り付けできません。無理に取り付けた場合、火災のおそれがあります。
  - 電源側プラグイン端子はパーへ確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。
  - 負荷側速結端子に電線を接続する場合、オレンジ色の接続完了表示が出るまで電線を奥まで差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。
  - 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
  - 配線作業は上位ブレーカを切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
  - ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。感電、火災、不動作のおそれがあります。

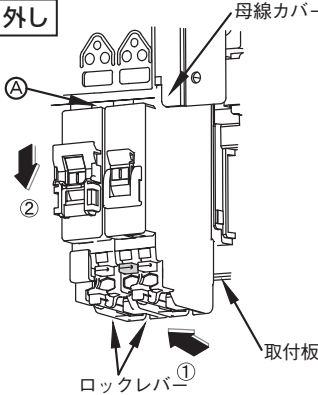
#### ⚠厳守

- 単相3線式分岐回路の配線は、片寄せ配線で行ってください。（内線規程）
- 【分電盤を購入のお客様へ】上列に組み込まれているブレーカを下列に変更、または下列に組み込まれているブレーカを上列に変更しないでください。上列と下列で負荷側の極性表示が異なります。
- 【ブレーカ単体を購入のお客様へ】組み込み位置と相によっては、極性表示が異なりますので、同梱の負荷表示変更シールを正しく貼付してください。負荷表示変更シールの貼付を間違えた状態で電線を負荷表示通りに接続すると、負荷機器に200Vの電圧がかかり、損傷のおそれがあります。負荷表示変更シールの貼付方法については、負荷表示変更シールの貼付をご覧ください。
- 負荷側速結端子付近に表示してあるN表示および色表示に電線の色を合わせて接続してください。
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。（内線規程）

### 本体の取り外し・取り付け

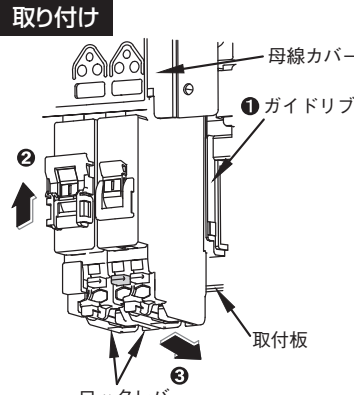
- 注意**
- 必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。
  - 母線力バーは取り外すことができません。無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。
- 厳守**

#### 取り外し



- ① ロックレバーを上げます。
  - ② ①部に指を掛けて、矢印方向へ引き抜いてください。
- ※ブレーカの脱落に注意してください。

#### 取り付け



- ① ブレーカをガイドリブの間に置きます。
- ② ブレーカをガイドリブに沿って奥まで差し込みます。
- ③ ロックレバーを下ろします。

### 負荷表示変更シールの貼付

- 【ブレーカ単体を購入のお客様へ】下図の負荷表示変更シールが同梱されています。組み込み位置と相によっては、極性表示が異なりますので、下表を参考にして、負荷表示変更シールを正しく貼付してください。

● ● ● (N) 負荷表示変更シール（左から黒、赤、N）

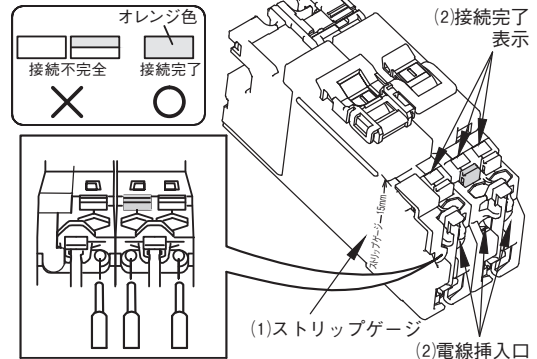
### 負荷表示変更シール貼付要否表

		正相	逆相
分電盤組込位置	上列	要貼付 赤黒N → 黒赤N	貼付不要 赤黒N
	下列	貼付不要 N黒赤	要貼付 N黒赤 → N赤黒

### 速結端子への電線接続

#### ⚠危険

- 禁止**
- 電線の押込み荷重が高すぎる(100N以上)とブレーカが破損する場合があります。
  - 解除ボタンの押込み荷重が高すぎる(70N以上)とブレーカが破損する場合があります。



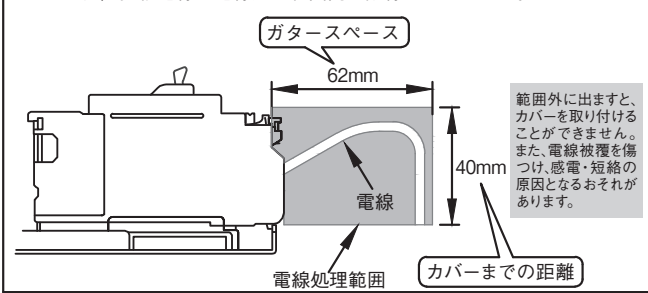
- (1) 電線の被覆をブレーカ本体のストリップゲージに合わせ、15mm(13~18mm)剥離します。
- (2) 電線挿入口に電線を差し込み、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差し込みます。オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。電線の剥離長さを確認して接続し直してください。
- (3) 電線を抜く場合は、解除ボタンを押しながらかき抜いてください。

#### ⚠注意

- 禁止**
- 1つの速結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。
  - 心線をはんだ付けしないでください。
- 厳守**
- 電線の差し込み部の変形・腐食は、接続不良の原因となります。電線の変形・腐食部分を取り除いた後、電線の被覆を剥離し、接続し直してください。
  - 棒圧着端子を使用する場合は、必ず絶縁キャップを取り付けてください。短絡のおそれがあります。
  - 適合圧着工具を使用して電線を圧着してください。

接続可能電線：φ1.6・φ2.0・φ2.6 Cu(銅)単線専用  
注)より線の場合は指定の棒圧着端子を接続してください。

注) 接続電線は電線処理範囲内で配線してください。



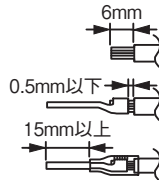
より線サイズ	適合棒圧着端子使用	
1.25mm <sup>2</sup> 2.0mm <sup>2</sup>	TC 2-20 (棒圧着端子) VC 1-2 (絶縁キャップ)	【ニチフ製】
3.5mm <sup>2</sup> 5.5mm <sup>2</sup>	TC 5.5-21ST (棒圧着端子) VC 5.5-21 (絶縁キャップ)	【ニチフ製】

### [棒圧着端子接続方法]

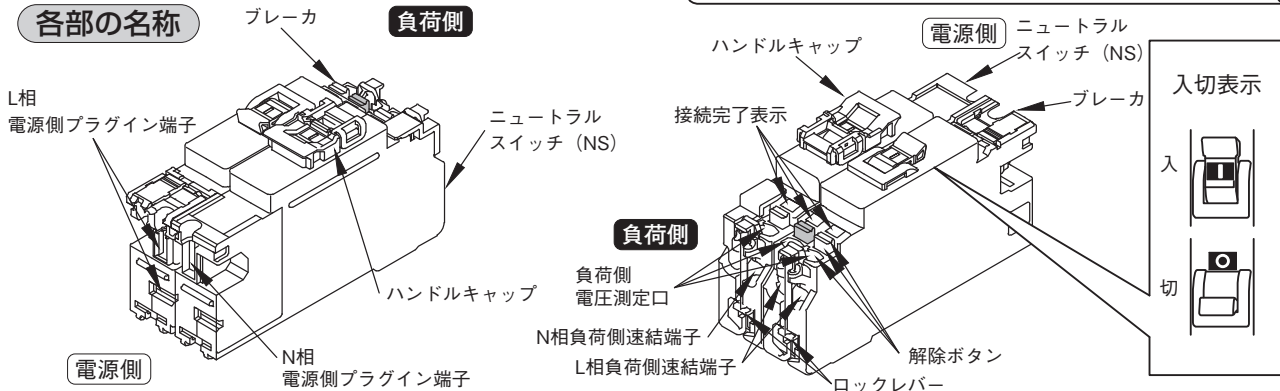
- 電線の被覆を6mm剥離します。
- 棒圧着端子に電線を通し、圧着します。
- 棒圧着端子に絶縁キャップを取り付けます。

#### ■適合圧着工具

ニチフ製NH1, NH9, NA3 (NA3 7) または同等品



### 各部の名称



# テンパール 単3分岐配線用ニュートラルスイッチ付 パールテクトブレーカ 取扱説明書(保管用)

●ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

型式：BC-3・1NSA

●この取扱説明書は必ず保管してください。

## 安全上のご注意

パールテクト専用

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。  
機器の知識、安全の情報として注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。  
この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。



**危険**：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を招く可能性が想定される場合。



**注意**：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

### ■使用上のご注意



- 端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。



- 電気工事は、有資格者（電気工事士）に依頼してください。
- 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを「|」にしてください。感電、火災のおそれがあります。

### ■保守・点検上のご注意



- 保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- 保守・点検は、上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電、短絡のおそれがあります。
- 回路点検時には、ブレーカを切「○」にしてからニュートラルスイッチを切「○」にしてください。施工後および点検終了後の通電はニュートラルスイッチを入「|」にした後、ブレーカを入「|」にしてください。
- ニュートラルスイッチは、点検時以外は操作禁止です。

### 施工電気工事者名

TEL ( )  
施工年月日 年 月 日

商品および取扱説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

広島市南区大州3-1-42

テンパール工業株式会社  
http://www.tempearl.co.jp/

技術問い合わせ窓口  
TEL (082) 287-9110 FAX (082) 283-4534  
受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (弊社営業日)